

望ましい学長像

令和4年3月17日
広島大学学長選考会議

学長候補者の選考は、人格が高潔で、学識が優れ、大学における教育・研究・社会貢献活動を当該学長候補者が示すビジョンに沿って適切かつ効果的に運営することができる能力を有する者のうちから行うものとする。(広島大学長選考規則第5条)

- ・ 広島大学全体の教学理念と使命（ミッション）を再確認し、アジア太平洋地域に位置する日本の大学として、国際相互理解を通して多文化共生の大学をめざして行動する。
- ・ 広島大学の総合研究大学としての使命に基づき、理念5原則の精神をもって、人類の未来を切り開く普遍的な価値の創造と人類の諸課題の解明に務め、それに取り組む人間を育成する。
- ・ 大学運営にあって、全大学キャンパスにおける教育・研究・社会貢献および文化・スポーツ活動を通じて、信頼と連帯を育み、地域に根差し、国際社会に開かれた学園を構築する。
- ・ 理念5原則の実現に向けて、大学の将来像を明示し、具体的な目標を掲げる。その上で、当該目標を達成するための基本的な方針を明確にする。
- ・ インターナショナル・マインドと発信力を持ち、有力な人脈を有するとともに、これを拡大する。
- ・ 世界水準の総合研究大学を目指し、明示したビジョンと具体的目標の実現のために、基本方針に遵って大学を経営する。
- ・ 学長を支える経営幹部を配置し、責任体制を明確化する（執行機関の整備）。
- ・ 広島大学の持続的発展のために、将来の大学経営を担う人材の育成、学長のリーダーシップを支える教職員の育成・確保に努める。
- ・ 安定した財政基盤の確立と戦略的な資源配分により大学改革を推進する。